

令和 8 年 度 仕 様 書									
款		項		目		節			
事業名						履行期間	令和8年 4月 1日から 令和9年 3月31日まで		
委託名		下水道センター水質汚泥等分析業務委託(ゼロ債務)							
履行場所		秩父市金室町19番7号 地内							
委託概要	水質分析・水質精密試験 一式 汚泥分析・汚泥含有溶出試験 一式 通日試験 一式 河川水試験 一式 ダイオキシン類測定 一式 ばい煙測定 一式 消化ガス分析 一式 高速ろ過設備水質試験 一式								
委託費									
備考									

秩父市 環境部  
下水道センター

## 本委託費内訳表

[illegible]











# 水質試驗明細書

(○印のみ実施)

項目	検体名	流入水	初沈入口	初沈出口	処理水	放流水	
水温 (°C)		○	○	○	○	○	
透視度 (度)		○	○	○	○	○	
PH		○	○	○	○	○	
浮遊性物質(SS) (mg/L)		○	○	○	○	○	
BOD (mg/L)		○	○	○	○	○	
ATU - BOD (mg/L)					○	○	
COD (mg/L)		○	○	○	○	○	
大腸菌数 (CFU/mL)		○		○	○	○	
遊離残留塩素 (mg/L)						○	
窒素含有量 (mg/L)		○				○	
燐含有量 (mg/L)		○				○	
ノルマルヘキサン抽出物 (mg/L)		○				○	



# 水質精密試験明細書(1/2)

(○印のみ実施)

項目	検体名	流入水	放流水				
カドミウム及びその化合物		○	○				
シアン化合物		○	○				
有機燐化合物		○	○				
鉛及びその化合物		○	○				
六価クロム化合物		○	○				
砒素及びその化合物		○	○				
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		○	○				
アルキル水銀化合物		○	○				
ポリ塩化ビフェニル		○	○				
トリクロロエチレン		○	○				
テトラクロロエチレン		○	○				
ジクロロメタン		○	○				
四塩化炭素		○	○				
1, 2-ジクロロエタン		○	○				
1, 1-ジクロロエチレン		○	○				
シス-1, 2-ジクロロエチレン		○	○				
1, 1, 1-トリクロロエタン		○	○				
1, 1, 2-トリクロロエタン		○	○				
1, 3-ジクロロプロペン		○	○				
チウラム		○	○				
シマジン		○	○				
チオベンカルブ		○	○				
ベンゼン		○	○				
セレン及びその化合物		○	○				
ほう素及びその化合物		○	○				
ふっ素及びその化合物		○	○				
1, 4-ジオキサン		○	○				
フェノール類		○	○				
銅及びその化合物		○	○				
亜鉛及びその化合物		○	○				
鉄及びその化合物(溶解性)		○	○				
マンガン及びその化合物(溶解性)		○	○				
クロム及びその化合物		○	○				

水 質 精 密 試 験 明 細 書 ( 2 / 2 )

(○印のみ実施)

項目	検体名	流入水	放流水				
	アンモニア性窒素	○	○				
	亜硝酸性窒素	○	○				
	硝酸性窒素	○	○				

下水の水質の検定方法等に関する省令(昭和三十七年厚生省・建設省令第一号)の定める方法により検定すること。  
流入水の水質精密試験は、5月・8月・11月・2月の通日試験時に実施する。  
単位は(mg/L)とする。

## 河川水試験明細書

(○印のみ実施)

項目	河川上流	河川下流	放流水			
水温 (°C)	○	○				
透視度 (度)	○	○				
PH	○	○				
浮遊性物質(SS) (mg/L)	○	○				
BOD (mg/L)	○	○				
COD (mg/L)	○	○				
大腸菌数 (CFU/mL)	○	○				
全窒素 (mg/L)	○	○				
全磷 (mg/L)	○	○				
アンモニア性窒素 (mg/L)	○	○				

[illegible]

## 通 日 試 験 明 細 書

(枠内数値は24時間における試験回数)

項目	検体名	流入水	初沈入口	初沈出口	処理水	放流水	
水温 (°C)		12	12	12	1	12	
透視度 (度)		12	12	12	1	12	
PH		12	12	12	1	12	
BOD (mg/L)		12	6	12	12	12	
ATU - BOD (mg/L)					12	1	
浮遊性物質(SS) (mg/L)		12	12	12	1	12	
COD (mg/L)		12	1	1	1	12	
大腸菌数 (CFU/mL)		12		1	1	12	
全窒素 (mg/L)		6				6	
全磷 (mg/L)		6				6	
ノルマルヘキサン抽出物 (mg/L)		1				1	
遊離残留塩素 (mg/L)						1	

※試験回数1回の項目は、13時の採取とする

※試験回数6回の項目は、9時・13時・17時・21時・1時・5時の採取とする

項目	検体名	エアレーションタンク		返送汚泥		
水温 (°C)		12		12		
DO (mg/L)		12				
PH		12		12		
SV (%)		12		12		
MLSS (mg/L)		12		12		
MLVSS (mg/L)		2		2		

エアレーションタンクは稼働中のもののみとする。(1池分を設計数量とする)

※試験回数2回の項目は、9時・21時の採取とする

## 高速ろ過設備水質試験明細表

(○印のみ実施)

項目	検体名	ろ過前水	ろ過後水			
水温 (°C)						
透視度 (度)		○	○			
PH		○	○			
浮遊性物質(SS) (mg/L)		○	○			
BOD (mg/L)		○	○			
ATU - BOD (mg/L)						
COD (mg/L)		○	○			
大腸菌数 (CFU/mL)		○	○			
残留塩素 (mg/L)						
全窒素 (mg/L)						
全磷 (mg/L)						
ノルマルヘキサン抽出物 (mg/L)		○	○			

# 汚泥試験A明細表(1/2)


(○印のみ実施)

項目	検体名	生汚泥	濃縮汚泥	第1消化汚泥	第2消化汚泥	脱水汚泥	汚泥脱水ケーキ
水温 (°C)		○	○		○	○	
汚泥温度 (°C)							
PH		○	○		○	○	
浮遊性物質(SS) (mg/L)							
BOD (mg/L)							
含水率 (%)							○
有機分(乾物中) (%)		○	○		○	○	○
無機分(乾物中) (%)		○	○		○	○	○
蒸発残留物 (mg/L)		○	○		○	○	
強熱減量 (%)							
強熱残留物 (mg/L)							
溶解性物質 (mg/L)							
アルカリ度 (mg/L)					○		
揮発性有機酸 (mg/L)					○		
濃縮汚泥濃度計濃度							

污泥試驗 A 明細表 (2 / 2)

(○印のみ実施)

検体名	項目	乾燥汚泥	汚泥焼却灰	濃縮タンク分離液	消化タンク脱離液	脱水機ろ液	
	水温 (°C)			○	○	○	
	汚泥温度 (°C)						
	PH			○	○	○	
	浮遊性物質(SS) (mg/L)			○	○	○	
	BOD (mg/L)			○	○	○	
	COD (mg/L)			○	○	○	
	全窒素 (mg/L)			○	○	○	
	全磷 (mg/L)			○	○	○	
	含水率 (%)						
	有機分(乾物中) (%)						
	無機分(乾物中) (%)						
	蒸発残留物 (mg/L)			○	○	○	
	強熱減量 (%)						
	強熱残留物 (mg/L)						
	溶解性物質 (mg/L)						
	アルカリ度 (mg/L)						
	揮発性有機酸 (mg/L)						
	濃縮汚泥濃度計濃度						

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying the majority of the page below the header. It is intended for a drawing.

## 污泥試驗B明細表

(○印のみ実施)

項目	検体名	生汚泥	濃縮汚泥	第1消化汚泥	第2消化汚泥	脱水汚泥	汚泥脱水ケーキ
水温 (℃)		○	○		○	○	
汚泥温度 (℃)							
PH		○	○		○	○	
浮遊性物質(SS) (mg/L)							
BOD (mg/L)							
含水率 (%)							○
有機分(乾物中) (%)		○	○		○	○	○
無機分(乾物中) (%)		○	○		○	○	○
蒸発残留物 (mg/L)		○	○		○	○	
強熱減量 (%)							
強熱残留物 (mg/L)							
溶解性物質 (mg/L)							
アルカリ度 (mg/L)							
揮発性有機酸 (mg/L)							
濃縮汚泥濃度計濃度							



## 污泥含有試驗明細表

(○印のみ実施)

検体名	汚泥脱水ケーキ	汚泥焼却灰				
項目						
銅又はその化合物	○					
亜鉛又はその化合物	○					
鉄又はその化合物(溶解性)	○					
マンガン又はその化合物(溶解性)	○					
クロム又はその化合物	○					
カドミウム又はその化合物	○					
シアン化合物	○					
有機燐化合物	○					
鉛又はその化合物	○					
砒素又はその化合物	○					
水銀又はその水銀化合物	○					
アルキル水銀化合物	○					
ポリ塩化ビフェニル	○					
ニッケル及びその化合物	○					

金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令(昭和四十八年総理府令第五号)に基づき試験を行うこと。  
単位は(mg/kg)とする。

## 汚 泥 溶 出 試 験 明 細 表

(○印のみ実施)

項目	検体名	汚泥脱水ケーキ	汚泥焼却灰				
アルキル水銀化合物		○					
水銀又はその水銀化合物		○					
鉛又はその化合物		○					
カドミウム又はその化合物		○					
有機燐化合物		○					
六価クロム化合物		○					
砒素又はその化合物		○					
シアン化合物		○					
ポリ塩化ビフェニル		○					
トリクロロエチレン		○					
テトラクロロエチレン		○					
ジクロロメタン		○					
四塩化炭素		○					
1, 2-ジクロロエタン		○					
1, 1-ジクロロエチレン		○					
シス-1, 2-ジクロロエチレン		○					
1, 1, 1-トリクロロエタン		○					
1, 1, 2-トリクロロエタン		○					
1, 3-ジクロロプロペン		○					
チウラム		○					
シマジン		○					
チオベンカルブ		○					
ベンゼン		○					
セレン又はその化合物		○					
1, 4-ジオキサン		○					

金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令(昭和四十八年総理府令第五号)に基づき試験を行うこと。  
単位は(mg/L)とする。

## 消化ガス分析試験明細表

(○印のみ実施)

検体名	項目	消化ガス					
	メタン	○					
	二酸化炭素	○					
	酸素	○					
	窒素	○					
	水素						
	硫化水素	○					
	シロキサン						
	総発熱量	○					

採取場所:消化槽出口(水取器)

## 水 質 汚 泥 試 験 月 別 試 験 内 訳（令和 8 年度）

4 月	「A 試験」 、「B 試験」
5 月	「D 試験・E 試験」 、「B 試験」
6 月	「A 試験」 、「B 試験」
7 月	「C 試験」 、「B 試験」
8 月	「D 試験・E 試験」 、「B 試験」
9 月	「A 試験」 、「B 試験」 、「消化ガス」
10 月	「A 試験」 、「B 試験」
11 月	「D 試験・E 試験」 、「B 試験」
12 月	「A 試験」 、「B 試験」
1 月	「C 試験」 、「B 試験」
2 月	「D 試験・E 試験」 、「B 試験」 、「消化ガス」
3 月	「A 試験」 、「B 試験」

A 試験：水質試験 汚泥試験 A 水質精密試験(放流水のみ)

B 試験：水質試験 汚泥試験 B

C 試験：水質試験 汚泥試験 A 水質精密試験(放流水のみ) 河川水試験

D 試験：通日試験 水質精密試験

E 試験：汚泥試験 A 汚泥含有試験 汚泥溶出試験

消化ガス：消化ガス分析試験

※高速ろ過設備水質試験（4 回分）の試験日は協議の上、決定する。

※各試験実施後に速やかに報告書・計量証明書を 2 部作成し提出すること。

※各試験の初回実施時に採取・分析の写真を 1 部作成し提出すること。

○ダイオキシン類測定（放流水）

1. 採水場所 放流口
2. 測定項目 ポリ塩化ジベンゾフラン、ポリ塩化ジベンゾーパラー  
ジオキシン、コプラナーポリ塩化ビフェニル
3. 測定回数 年1回（9月）
4. 報告書 結果報告書・計量証明書3部 採取・試験時写真1部
5. その他 実施の日程は、水質試験と同時期で可

○ダイオキシン類測定（脱水ケーキ）

1. 採水場所 汚泥試験の検体と同じ場所
2. 測定項目 ポリ塩化ジベンゾフラン、ポリ塩化ジベンゾーパラー  
ジオキシン、コプラナーポリ塩化ビフェニル
3. 測定回数 年1回（9月）
4. 報告書 結果報告書・計量証明書3部 採取・試験時写真1部
5. その他 実施の日程は、水質試験と同時期で可

○ばい煙測定（蒸気ボイラー）

1. 測定場所 上記ボイラー（指定の測定孔）
2. 測定項目 重油：ばいじん、窒素酸化物濃度、硫黄酸化物濃度  
ガス：ばいじん、窒素酸化物濃度
3. 測定回数 年2回（9月・2月）
4. 報告書 結果報告書・計量証明書等2部 採取・試験時写真1部
5. その他 前月下旬までに実施日を調整する

以上

## 特 記 事 項

### ○採取時の安全確保について

- ・ 試料採取にあたっては、転落等危険を伴う箇所がある為、必要な安全対策を施したうえで実施すること。
- ・ 落下物等の危険があるため、建物内等ではヘルメットを着用すること。

### ○水質・水質精密・通日・河川水試験について

試料採取は、採取の前日及び当日に降雨がない日に実施するものとする。そのため、実施予定日の一週間前頃より天候予測を行い、連絡・調整して実施すること。

特に、通日試験については、開始後、試料採取中に降雨（降水量 1 mm/日以上）が発生した場合は中止となるため、天候の見極等を慎重に協議し、開始の最終的な判断は、受注者が行うこととする。

### ○汚泥分析・汚泥含有・汚泥溶出試験について

運転状況により、予定日に試料採取が行えない場合、発注者はただちに受注者へ連絡し、実施日を調整すること。

### ○ダイオキシン類、ばい煙、消化ガス分析試験について

実施予定月の約 1 カ月程前に、日程調整を行うこと。

### ○高速ろ過設備水質試験について

設備の性質上、雨天時に行う試験であり、高速ろ過設備稼働中にしか試料を採取できないため、実施日程の調整、資料の採取・運搬方法を事前に協議しておくこと。

### ○試験結果の報告について

- ・ 検定方法などについては、各種関係法令を確認のうえ、遵守すること。
- ・ 報告書の提出前に分析結果が判明した時点で速報値を報告すること。また、検体数の多い通日試験等においては判明した項目ごとに分割した速報値の報告でもよいこととする。
- ・ 年度の分析が終了後、各試験毎に年間の試験データの一覧表を作成し提出すること。
- ・ 採取・分析時の写真は、年度の途中又は完了通知書と一緒に提出してもよいものとする。また、写真帳には採取場所の図面、写真を作成し、添付すること。
- ・ 分析報告書には排出基準値及び根拠法令を明記すること。
- ・ 分析報告書において、報告下限値は原則として検出限界値とする。また、報告欄にはそれと分かるように記載すること（「ND」等）。

以上

